

中央小学校区の巨木-001

中央小学校区の巨木-2009



踏査・こうた自然の会

2009.10.31

中央小学校区の巨木-002

001-表紙

002-目次

003-巨木の定義

004-中央公園のサクラ

005-横落秋葉神社のヒノキ

## 巨木の定義

幸田の巨木を踏査するにあたり巨木の定義を、環境省自然環境局生物多様センターの「巨樹・巨木の基本的な計測マニュアル」を参考に計測しました。

なお、樹齢を重ねても幹周りが300㎝以上には育たない、あるいは、育ちにくい樹種があり、そのような樹種の中にバラ科エドヒガン系を除くサクラ属のすべてが含まれています。

今回の踏査ではこの項目を採用し、幸田町の樹ヤマザクラに限り、単木で胸高幹周が200㎝、もしくはそれを越えるものを巨木の対象としました。樹高につきましては定義の対象外として計測しておりません。

### 測定の基本形

地上から1.3mの位置の幹の周りが300㎝、もしくはこれを越えるものを巨木とします。

また、幹の周りが500㎝、もしくはこれを越えるものは巨樹とします。

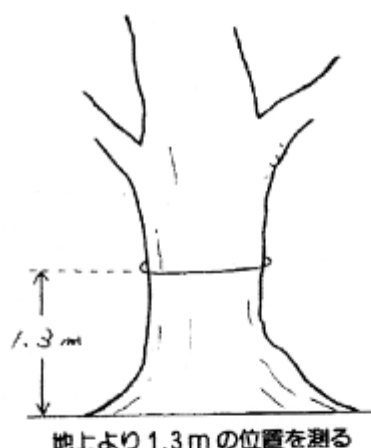
### 複数の幹が株立ちになったもの

地上130㎝以下で幹が数本に分かれている時は、地上130㎝の位置で種となる幹の周りが200㎝もしくはそれ以上、そして周りが30㎝を越える全部の幹の合計が300㎝もしくはこれを越えるものを巨木とします。

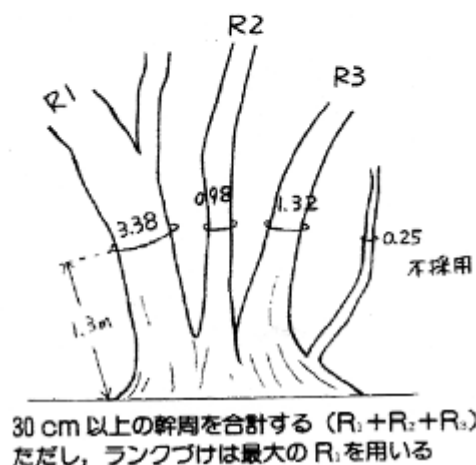
### 根上がりもの

根の出た箇所から1.3m上の位置の幹の周りが、上記二つの項目の条件を満たすものを巨木とします。

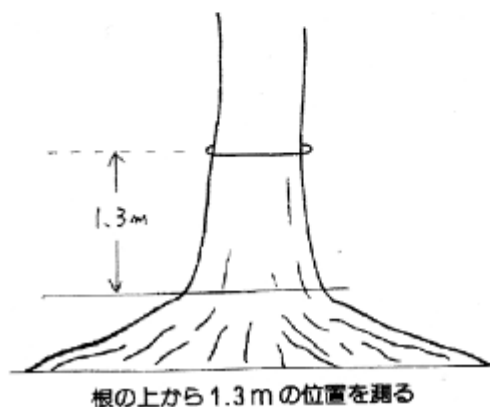
#### 〔測定の基本形〕



#### 〔株立ち〕



#### 〔根上がり〕



中央小学校区の巨木-004

樹種名・ソメイヨシノ

科名・バラ科

胸高幹周・幹 1=212 ㍉

幹 2=195 ㍉

合計 407 ㍉

所在地・大字菱池字元林

幸田中央公園管理棟西

所有者・幸田町

記事・2本株立ち

幹に空洞あり

コンクリートを充填

呼称・中央公園のサクラ



踏査と写真・平成 21 年 08 月 25 日



中央小学校区の巨木-005

樹種名・ヒノキ

科名・ヒノキ科

胸高幹周・316㎝

所在地・大字横落字郷中  
横落秋葉神社境内  
稻荷神社の脇

所有者・横落秋葉神社

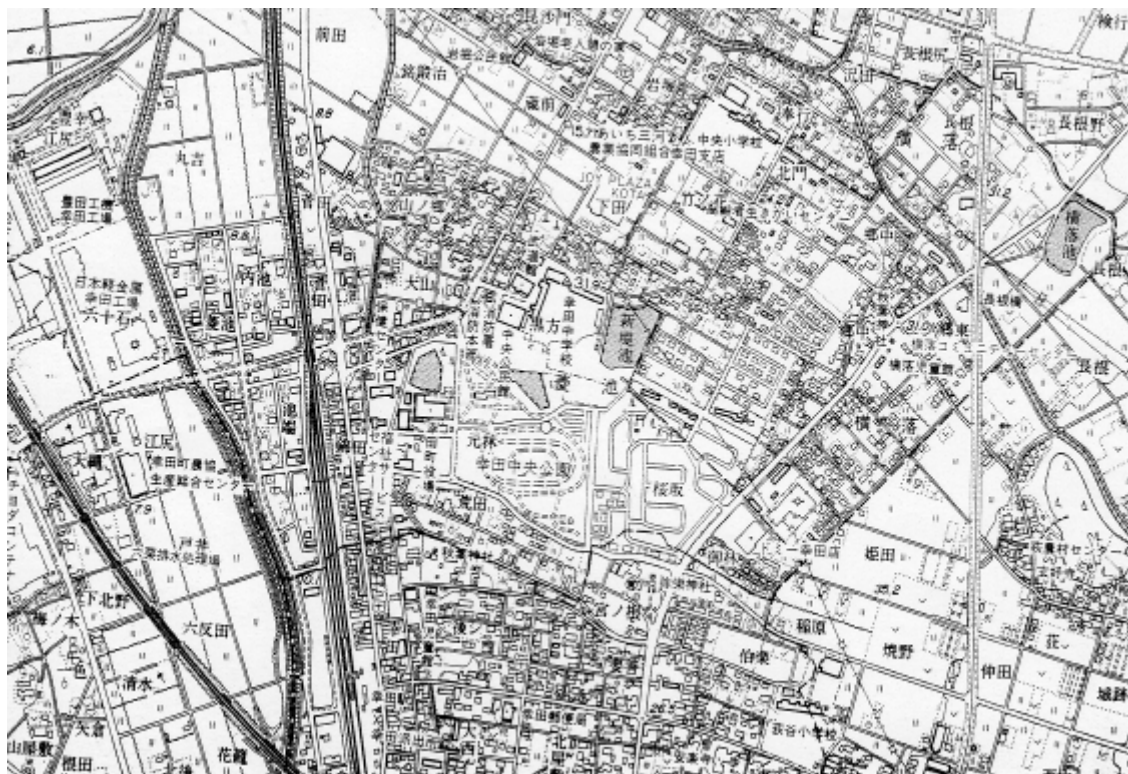
記事・単木

呼称・横落秋葉神社のヒノキ



踏査・平成 21 年 07 月 14 日

写真・平成 21 年 08 月 21 日



あとがき

参考にした資料

巨樹・巨木林の基本的な計測マニュアル 環境省自然環境局生物多様センター  
幸田町史 昭和 49 年発行 幸田町  
日本の巨樹・巨木 高橋 弘著 新日本出版社  
山溪ハンディ図鑑 3~5 樹に咲く花 写真・茂木 透他著 山と溪谷社

前回紹介致しました中の次の 3 件を記録から削除させていただきます

幸田の巨木記録票(003) ヤマモモ (御祖神社)  
2 本株立ちの主幹胸高幹周が 187 ㍍で 巨木の条件を満たさないため  
幸田の巨木記録票(005) ヤマモモ (本光寺)  
5 本株立ちの主幹胸高幹周が 196 ㍍で 巨木の条件を満たさないため  
幸田の巨木記録票(017) イチョウ (大草神社)  
単木の胸高幹周が 286 ㍍で 巨木の条件を満たさないため

あとがき

昭和 49 年に刊行された幸田町史の記録をもとに踏査し、平成 19 年に樹木 25 件を「幸田町の巨木」として紹介しました。

今回は前回紹介した巨木を精査すると共に、他に計測した樹木と合わせ 79 件の巨木を報告させていただくことに致しました。これからも踏査を続け新しい巨木の発見に努めたいと思っております。本書にあります巨木の定義に合う樹木をご存知の方は是非お知らせください。

なお、今回紹介させていただきました巨木も改めて精査すると共に、新しく写真も撮り直し、新しく発見出来た樹木のデータと共に体裁を一新してご覧いただく予定でありますご意見、情報をお寄せください。

幸田の巨木-2009  
踏査・記録・写真  
こうた自然の会  
近藤 守  
幸田町大字菱池字欠間 105-3  
〒444-0113  
Tel/Fax (0564)62-0604  
製作協力 幸田町